



# 善正寺だより

〒:512-0902  
三重県四日市市  
小杉町1014  
浄土真宗  
本願寺派  
善正寺  
☎:0593-31-1670  
☎:0593-32-0733

## 掲示板法話

### 「弱いのが人間だ」と共感し

### 安心して悩める世界がある



先月、マリナーズのイチロー選手が張本さんの持つ最多安打日本記録を破りました。この瞬間を親戦していた張本さんもスタンドの大観衆に紹介され、讃えられました。張本さんは「悔しいが立派だ。ヒットを打つ技術においては川上さんが一番だと思っていたが、イチローはそれ以上だ。ピートローズの世界記録をめざして欲しい」と祝福しました。彼は天才だとよく言われますが、才能だけではない秘密があるようです。

彼は出身地・愛知県豊山町の少年野球大会を支援し、毎年表彰式で少年たちと交流しています。今年の大会での表彰式の時、「三千本ヒットを打ったということは、六千回以上失敗したということを忘れないようにしている」と語りかけました。つまり、失敗を認め失敗に学びながら、高い志をもって精進してきたのです。

「失敗を認める」、これは野球だけでなく、我々の人生についても学ぶべきものがあります。

春先、耳鼻咽喉科は花粉症の人であふれるが、年中、患者さんが増えているのが心療内科だそうです。眠れない、元

気が出ない、何となく憂うつで誰にも会いたくない、などという悩みを抱えている人が随分多いのです。耳鼻科の医院に行くことは気楽に口に出せても、心療内科に通院していることは中々他人に言えない難しさも悩みを複雑にしています。でも、心の病は心の弱い人だけのことでしょうか？

毎田周一さんは「弱さがあつてこそ人間だ。強いだけの人間など考えることはできない。それは人間でなく石だ」と言っています。

「弱さ」を認め合い、「失敗」を責めない。「失敗」してもいい。安心して悩んだり、休める社会であれば、どんなに生きやすい社会だろうか。これは若い世代の不登校や引きこもり問題、あるいは十一年連続自殺者数三万人以上という日本社会の病理現象に対処する上で極めて大切な目標です。

懐かしいお父さんもお母さんも、おじいさんもおばあさんも皆ことごとく仏さまの仲間に加えられ、私たちを見守っておられます。「弱いのが人間だ」という共感、「仏さまの大慈悲に抱かれ

ているお互いですわね」という安心感の中でこそ、育てられます。お慈悲が皮膚感覚で伝わるような絆を深め、拡げていくことこそ、本願念仏の教えに生きる者の生きがいでありましょう。

煩惱にまなこさへられて

摂取の光明みざれども

大悲ものうきことなくて

つねにわが身をてらすなり

(高僧和讃・源信讃)

(意訳：煩惱に邪魔されて「救い取り難さな」という如來さまの光明を見ることできません。でも大悲の如來さまは少しも倦み疲れることなく常に我らを照らして下さい)



## ☆ 春のトピックス:2題 ☆



日本の国鳥  
キジが垂坂山に  
現れる！！



2009.3.30 晴雨 晴丸号受賞 家族で祝宴  
息子達の新たな旅立ち 4月より晴れて大学で教え  
息子たちの旅立ち どうぞご良導下さい。  
晴れて社会人に！

## ☆行事ご案内☆

◇5月31日(日)午前10時総会・午後1時法座

午前10時:門信徒総会(新役員発表、昼食用意)

午後1時:「公開法座」(貴島信行師)

どなたでも大歓迎!どうかお誘い合わせてお参り下さい!

### ♪三重組コーラス♪

※5/13(水)午前10時半・陽光苑誕生会慰問28回目

※5/20(水)午後1時三重組仏婦総会出演(覚照寺様於)

750回遺恩の音楽法要と「光あふれて」12時半集合、コーラス服装

5月最終土曜日の小杉練習はありません、6/27(土)夜練習

※7月2日(木)名古屋別院音楽祭募集中、バス昼食費3千円、

### ◇キッズサンガ

5/9(土)午後4時お経・ゲーム・お菓子誰でもOK

◇一縁会テレホン法話059-354-14543分間法話聞けます

予告◇6月15日(月)午前・午後三重組仏教講習会・善正寺

善正寺ホームページ「三重 善正寺」で検索OK新着情

報や『住職と坊守のつれづれ日記』おススメ!ほぼ毎日更新!

何でもご相談お気軽に。仏事以外のことで結構です。お返事します。

開設8ヶ月4月末で6200回アクセス達成、嬉しい手応え、感謝お礼!

坊守スケッチ

定年までのカウンタダウン

定年を来年に控えた友人が「あと三百三十五日でこの仕事を終える」と寂しそうに言った。三十八年間教師をしてきた人。卒業する生徒の似顔絵を、一人一人描いて手渡す人気の先生だ。生徒も思い出に残るプレゼントに感激。定年後は毎日が日曜日。その後の人生設計をいかに立てるか模索中だ。友人には趣味があるので、しばらくはそれに熱中するだろう。きつと今までは違った新しい人生が開ける筈だ。私は生涯肩書きがないので、定年もない代わりに、坊守兼主婦として、現役で働き続けなければならぬ。一年間を緊張感で過ごす友人を、素晴らしいと思う。きつと一日一日を愛おしみ、大事にカウンタダウンするだろう。社会的立場のある人が、肩書きの取れた時、今までは違った人間関係が展開する。ある銀行の頭取さんが「皆が私に親切にしてくれるのは、頭取に親切にしてくれるのか、一人の人間として親切にしてくれるのか分からぬ。本当の私を知ったらこんな親切にしてもらえない」と言われた。人柄の高潔な方の謙遜と思うが、普通は肩書きがなくなると、一様に寂しい思いをする。そんな時、私がオススメするのが、自然の中に身を置くことである。野山の花や鳥、季節の移ろいに身を任せることで、自分もその中の一員である

ることや、大いなるものに抱かれる喜びを見つけることが出来る。競争社会では他人を批判し、不平不満ばかり言っていた人が、喜び上手になり、感謝して安心の日暮が出来ようになる。

我が住職も、朝散歩を楽しむようになってから、随分目線が変わってきた。四季折々の花や木や鳥に興味を示し、果ては捨て猫を可愛がる始末。散歩連れの何気ない会話に癒され、人間が丸くなったように思う。まだ現役の仕事も残っているが、上手くスローダウンして、第二の人生を歩んで欲しい。ところでカウンタダウンにもいろいろある。「いのちのカウンタダウン」を宣告された人の場合は深刻だ。本人のみならず家族までもが、苦悩の日々の連続だ。軽々しく「頑張つて」とか「お大事に」と言うのは無神経すぎる。仏様にお任せする気持ちで、そつと寄り添い、見守る優しさをもちたい。実は私連一人一人が「いのちのカウンタダウン」を宣告されているにも拘わらず、誰もがそれを意識的に避けようとしているのではないかと思う。「死ぬことを意識して生きていたら、人生暗くなる」という人が多い。定年は期限があつて、準備が出来るとカウンタダウンであるが、人生のカウンタダウンは、突然終わりを告げる。朝に紅顔あつて、夕には白骨となれ

る身なり・誰の人も早く後生の一大事を心にかけて念仏申すべきものなり」蓮如上人の御文章を、しっかりと心に刻んで、毎日を大切に生きたい。

☆寄稿

四日市市 川崎 孝一  
大棟に今 沈む寸前

☆准仏会 初夏と思しき 寺庭に  
ゲートボールで 汗する老い等

☆「おくりびと」 稀に邦画のロングラン  
盛者必衰 会者定離

☆はこべたちと 春の浄土に生きている  
許された 私のいのち

☆ホットニュース☆  
◇加藤幸子先生よりお誘い「五月四日午前津正覚寺様・午後松阪善覚寺様で『聞法の集い』講師岡本治師・広島」

☆五月三十一日(日)午後一時「公開法座」(大阪・貴島信行先生)楽しみな

法話です。是非お参り下さい。

☆善正寺のホームページが公開！仏事に関する相談、お悩み等気軽に寄せ下さい。「三重 善正寺」で検索可。

※「住職と坊守のつれづれ日記」がおススメ、好評！ほぼ毎日更新。毎朝散歩時にカメラでブログネタを取材。おかげ

さまで開設八か月でアクセス数が六千二百回を突破！今までお寺と縁がな

かった方や若者、子供の訪問に感謝。



☆コーラス☆

※五月十三日(水)午前・陽光苑慰問  
※五月二十日(水)午後一時三重組仏婦  
總會(西坂部覚照寺)出演 十二時半現  
地集合、コーラスの服装、音楽法要の本  
「光あふれて」七百五十回忌音楽法要  
(五月は夜の小杉練習はありません)  
「予定」

※六月二十七日(土)夜練習  
◇七月二日(木)名古屋別院音楽祭  
「光あふれて」三重組単独ステージ歌  
出演者募集中、参加・交通費三千元、  
※NHKTV「だんだん」より「いのちの  
歌」楽譜入手、素敵なお歌を皆さんで歌  
いましょう。

お悔やみ申し上げます☆  
★川村昌子様(東京)・八十六歳・四月三日亡  
★館初子様(四日市)六十九才・四月十一日亡  
合掌

キッズサンガ・杉の子合唱団  
◇五月九日(土)午後四時より  
お経・ゲーム・紙芝居など。お友達誘  
つて来てね！

☆ 編集子より ☆  
「善正寺だより」第一八五号をお届けし  
ます。◇本願寺御影堂平成大修復が完  
成し、二十二日・二十六日まで慶讃法  
要です。◇名古屋博物館では本願寺  
展が開催、善知識方の信仰の足跡を目  
の当たりにできる良い機会です。◇緑  
したたる行楽の季節ですが、これ全て  
我々が仏に成らせて頂く仏縁です。努  
めて声かけ合い「縁に遇いましょう。」

新緑のトンネルを爽やかな風に吹かれながらの朝散歩、歩みながらの短歌作りはささやかな脳トレ。ホームページの「つれづれ日記」に写真と共に投稿するのが日課になりました。開設8ヶ月で620回以上のアクセスを頂き、かけがえのない喜びとなっています。先日垂坂山でギジを発見しました。8年以上通い続けていますが見たのは初めて。そこでイマイチの駄作を披露。「チゴチゴと草むら隠れギジがゆく垂坂山にも日本の国鳥」体長は80cm位、顔は赤色、胴体は青味がかった緑色、尻尾が長いのが特長で、ケーンケーンと鋭い鳴き声を二声発します。鳴かなければ美しく華やかな姿です。桃太郎のお供として昔話に登場しますが、諺「頭隠して尻隠さず」や、「けんむほろろ」という言葉はギジからの語源です。散歩の功用から意外な所に知識がたがります。この「知識」という言葉も仏教用語でサンスクリット語で「友人」を意味します。「善知識」とは「善き友」のこと、仏様の尊い教えを説いて私を悟りの世界へ導く人のことです。独りぼちの世界に閉じこもるのではなく外に出て「善知識(善き友)」を見つけてみよう。高齢化時代の「ニコウ」とは「一に健康、二に旅行、三に信仰」ということです。お寺が三番の信仰の場を提供し、その仲間作り(善知識の出会いの場)のお手伝いしたいと思います。五月の予定として5/20(三)三重組仏婦でコースか音楽法要(覚照森5/31(日)午前門信徒総会、午後「公開法座」(大阪貴島信行先生)欠々のご出向、串(みな法座)です。皆様お誘い合わせてお参り下さいませ。尚ら5(月)午前、午後三重組仏教講習会(善正寺於)も、予定下さいませ。平成二十一年五月 合掌 善正寺坊守拝